

とちぎ蔵の街周辺地区 都市再生整備計画（地方都市リノベーション事業） 概要

栃木市の中心拠点となる「とちぎ蔵の街周辺地区」においては、多様な都市機能の集約・誘導、また、歴史を活かした蔵のまちづくりの推進、公的不動産の有効活用等により、快適・便利な暮らしの場や活力・魅力ある交流の場等を提供し、定住の促進と交流人口の拡大を図り、持続可能な都市構造への再構築を推進する。

併せて、「中心拠点」と「地域拠点」の連携充実を図ることにより、都市機能を相互に補完・共有し、「とちぎ蔵の街周辺地区」を中心とした魅力と活力と賑わいのある一体的な「新しい栃木市」のまちづくりを推進する。

① 地方都市リノベーション推進施設 <(仮称)文化芸術館>



【完成イメージ】

- 旧栃木市役所本庁舎跡地を活用し、歴史・文化・芸術のまちづくりの拠点施設とし、本市の進める蔵のまちづくりと連携し、蔵の街観光の拠点とすることにより、文化芸術及び観光の振興を図り、市民活動及び交流人口の増加による賑わいの創出を図る。
- 展示室、市民ギャラリー、多目的スペース、収蔵庫等を配置

② 既存建造物活用事業 <(仮称)文学館>



【完成イメージ】

- 本市の歴史的資源である旧栃木町役場庁舎を活かし、山本有三など本市ゆかりの文学者等を紹介する拠点施設として改修し、文化芸術館と一体的な活用を図ることによる相乗効果により賑わいの創出を図る。
- 展示室、多目的室、サロン、資料保管室等を配置

③ 地方都市リノベーション推進施設 <くらのまち保育園>



(H30.4 開園)

- 旧栃木中央小学校跡地を活用し、市内の保育施設を集約統合するとともに、まちなかでの子育て支援機能の強化を図ることにより、まちなか居住を促進する。
- 保育室、一時預かり室、調理室、園庭等を配置

目標

大目標

住まい、賑わい、集いの拠点
歴史・文化を活かし育む
とちぎのまちなか再生

小目標①

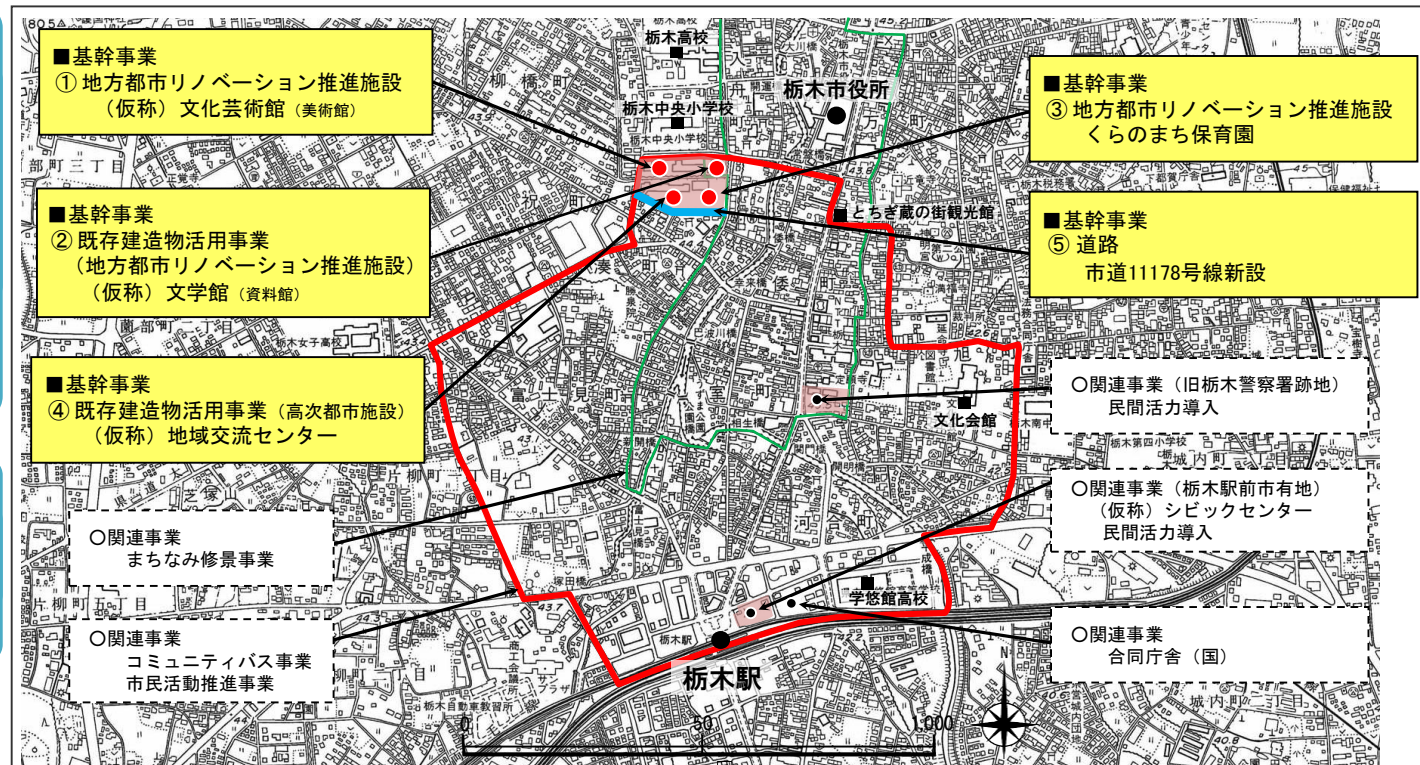
多様な都市機能の集約的配置による
魅力・活力・賑わいの創出

小目標②

公的不動産を有効に活用した
複合的都市拠点の形成

計画内容

所在地：栃木県栃木市
事業主体：栃木市
面積：99.2ha
期間：平成28年度～令和2年度



④ 既存建造物活用事業 <(仮称)地域交流センター>



(R2.7 開館)

- 旧栃木中央小学校の校舎を活用し、市内の公共施設を集約するとともに、市民からの要望の高い市民活動支援施設として再整備することにより、市民活動やまちづくり活動の充実によるまちの活力や賑わいの創出を図る。
- 交流スペース、研修室、音楽室、調理室、多目的室、和室等を配置

⑤ 道路 <市道11178号線新設>



- 新たな拠点施設への安全で快適なアクセスを確保するため、旧栃木中央小学校敷地南に新たな道路を整備する。

(H30.4 開通)

凡例	
	計画区域
	基幹事業
	関連事業